NEC

ユーザーズマニュアル

LaVie E

目次

853-811064-199-A
2012年4月 初版

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

⚠注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

!	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

とくに重要	してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。
重要	注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参考	パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。
参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
DVD/CDドライブ	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVDR/+R2層書込み))を指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

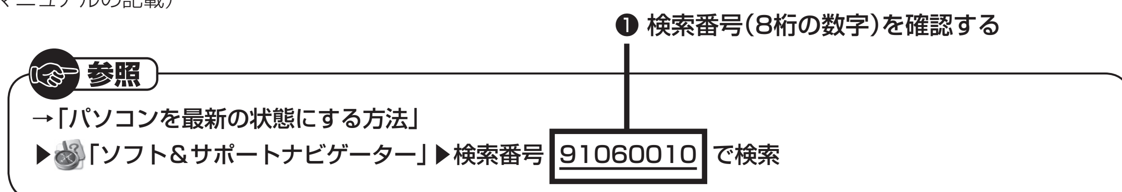
◆番号検索(検索番号)について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

◆利用方法

例) 検索番号が「91060010」の場合

(マニュアルの記載)



(「ソフト&サポートナビゲーター」の画面)



◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

「このパソコンのモデル構成について」(p.5)をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
Windows 7 Home Premium モデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Personal 2010モデル	Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。
Office Home & Business 2010 モデル	Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
Office 2010 モデル	Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	IEEE802.11b/g(2.4GHz)およびIEEE802.11n(2.4GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。

◆このパソコンのモデル構成について

このパソコンはモデルごとに次のような機能で構成されています。ご購入いただいたモデルにどのような機能があるかご確認ください。

シリーズ名	型名(型番)	表記の区分			
		DVD/CDドライブ	ワイヤレスLAN	OS	添付ソフト
LaVie E	LE150/H2 (PC-LE150H2)	DVDスーパーマルチドライブモデル	高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	Windows 7 Home Premiumモデル	Office Home & Business 2010モデル
	LE150/H1 (PC-LE150H1)				Office Personal 2010モデル

◆本文中の記載について

- 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆周辺機器について

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、Windows 7	Windows® 7 Home Premium Service Pack 1(SP1)
Office Personal 2010	Microsoft® Office Personal 2010
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Outlook 2010	Microsoft® Outlook 2010
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
タスクバー	Windows® タスクバー
Windows Update	Windows® Update
Windows Live メール	Windows Live® メール 2011
ユーザー アカウント制御	Windows® ユーザー アカウント制御
ウイルスバスター	ウイルスバスター 2012 クラウド™
らくらく無線スタートEX	らくらく無線スタート® EX

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守･修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Office ロゴ、Excel、Outlook、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
Windows Liveは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
インテル、Intel、インテル® Atom™ プロセッサーはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
SDXC、SDHC、SD、microSDHC、microSD、ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“マジックゲート メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
Aterm、WARPSTARは、日本電気株式会社の登録商標です。
らくらく無線スタートは、NECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■輸出に関する注意事項
本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export
This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Personal Computers, Ltd.

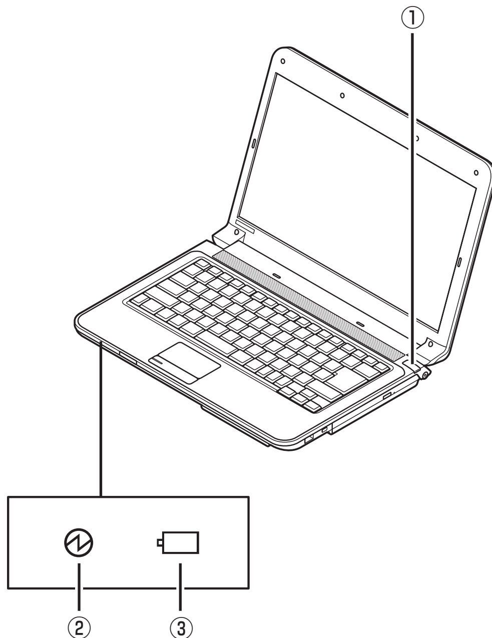
第 1 章

このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、
いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

よく使うボタンなど

このパソコンの添付品の確認は、『添付品を確認してください』をご覧ください。接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチなどについて紹介します。



①電源スイッチ
パソコン本体の電源を入れるとき、省電力状態から復帰するときに押します。

②電源ランプ
電源が入っているときは点灯します。スリープ状態のときは点滅します。また、バッテリ残量が少ないときにも点滅します。休止状態、または電源が切れているときは消灯しています。

③バッテリ充電ランプ
バッテリの充電中は点灯します。バッテリにエラーが発生したときは点滅します。ACアダプタが接続されていないときや、充電が完了しているときは消灯しています。

参照
パソコン各部の説明について
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010010 で検索

このほかに、【Fn】+【1】や【Fn】+【2】、【Fn】+【F7】を押すだけでソフトや機能を起動することができます。このキーの組み合わせを「ワンタッチスタートボタン」と呼びます。ご購入時の設定では、次のキー操作にWebブラウザを閲覧するソフトと電子メールのソフトが割り当てられています。

- 【Fn】+【1】…Windows Live メールが起動します。Office 2010モデルの場合、はじめて【Fn】+【1】を押したときに選択した電子メールソフトが起動します。
- 【Fn】+【2】…Internet Explorerが起動します。
- 【Fn】+【F7】…ソフト&サポートナビゲーターが起動します。

重要
Office 2010モデルでは、はじめて【Fn】+【1】を押したときには、登録できるメールソフト(「Microsoft Office Outlook」、「Windows Live メール」)を選択する画面が表示されます。お使いになるメールソフトを選択すると、【Fn】+【1】に割り当てられます。

ソフトを起動する

このパソコンには、目的に合ったソフトを探して、起動することができる「ソフト＆サポートナビゲーター」や登録しているソフトやファイル、インターネット上のサービスなどを簡単に利用することができる「おすすめメニューNavi」が用意されています。

ソフト&サポートナビゲーターについて

「ソフト＆サポートナビゲーター」を使うと、このパソコンのハードディスクにあらかじめ登録されているソフトを探して起動することができます。「ソフト＆サポートナビゲーター」に登録されているソフト名の下に「未インストール」と表示されている場合は、「ソフトを起動」をクリックし、インストールしてから起動することもできます。

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、タスクバーのアイコンをクリックして起動してください。ソフトを起動したいときは、「ソフトを探す」をクリックし、目的や名前から起動したいソフトを探してください。

目的や名前から起動したいソフトが探せます。



参考

「ソフト＆サポートナビゲーター」の機能や操作方法などの詳細は、「本ソフトについて」をクリックして確認することができます。

おすすめメニューNaviについて

「おすすめメニューNavi」を使うと、インターネットで知りたい情報を検索したり、よく使うソフトをすぐに使えるように登録することができます。ソフトを登録するだけでなく、お好みの情報をいつでも表示しておくこともできます。

「おすすめメニューNavi」が画面に表示されていないときは、タスクバーのアイコンをクリックして表示してください。



①設定パレット

「おすすめメニューNavi」全体や各パレットの表示のしかた、動作などを、お好みに応じて設定することができます。

②検索パレット

このパソコンやインターネットから知りたい情報を検索することができます。アイコンをクリックするだけで簡単に検索対象を切り換えることができます。

③起動パレット

ソフトやファイル、インターネット上のサービスなどをクリックするだけで、簡単に使いはじめることができます。よく利用するショートカットなどを登録して使うこともできます。

④情報パレット

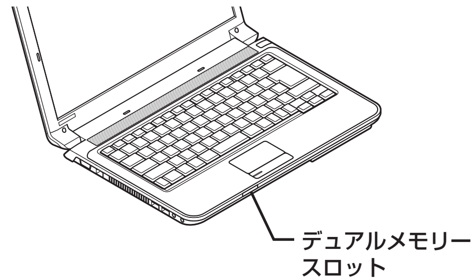
写真のスライドショー、天気予報やニュースなどのインターネット上の情報などを表示させることができます。「おすすめメニューNavi」に登録されているソフトやインターネットサービスの説明も表示されます。

参考

「おすすめメニューNavi」の機能や操作方法などの詳細は、「おすすめメニューNavi」のヘルプをご覧ください。

メモリーカード

このパソコンのメモリースロットは次の図で示す位置にあります。



使用できるメモリーカードの種類

このパソコンでは、次のメモリーカードを使用することができます。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- メモリースティック
- メモリースティック PRO

市販のアダプタが必要なメモリーカード

次のメモリーカードを使用する場合には必ず市販のアダプタにセットしてから使用してください。

- miniSDカード、microSDカード
- メモリースティック デュオ、メモリースティック マイクロ(M2)

参照

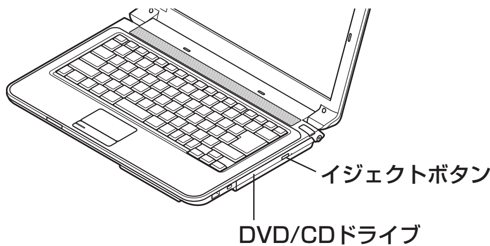
メモリーカードやアダプタの形状、メモリースロットへの出し入れのしかた、注意事項について→「デュアルメモリースロット」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93020105 で検索

重要

市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。
必ずアダプタにセットしてから使用してください。

ディスク(DVD/CDなど)

このパソコンのDVD/CDドライブは次の図で示す位置にあります。



重要

- CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。
- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

参照

使用できるディスクやデータ形式、注意事項について
→「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93070010 で検索

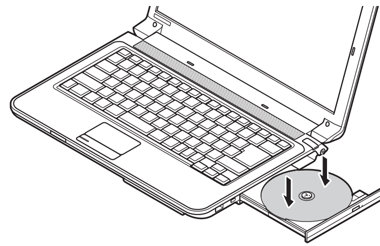
ディスクをセットする

手順1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

手順2 ディスクトレイを手で引き出す

手順3 ディスクのデータ面(表裏にご注意ください)を下にしてディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む



手順4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

ディスクを取り出す

手順1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

手順2 ディスクトレイを手で引き出す

手順3 ディスクを取り出す

手順4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

ディスクが取り出せなくなったときは

次の方法でディスクを取り出す前に、第4章の「その他のトラブルがおきたとき」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」(p.60)をご覧になり、ディスクが取り出せないか試してください。

参考

パソコンの電源が入っていないと、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、次の操作でディスクを取り出してください。



注意

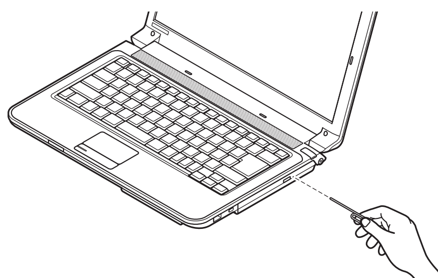
ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

手順1 **パソコンの電源を切る**

手順2 **太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する**

大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

手順3 **非常時ディスク取り出し穴に、手順2で準備した針金を差し込み、押し込む**



ディスクトレイが少し飛び出します。

手順4 **ディスクトレイを引き出し、ディスクを取り出す**

手順5 **ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す**

インターネットに接続する前に

重要

- **このパソコンでは、ダイヤルアップ接続はご利用になれません。回線の変更については回線事業者にお問い合わせください。**
- **はじめてインターネットを始めるかたはプロバイダへの入会が必要です。プロバイダへの入会については各プロバイダにお問い合わせください。**

設定に必要なもの

プロバイダに入会し回線が開通したら、インターネットに接続するために必要なものを用意してください。

□回線事業者やプロバイダから入手した資料
プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手した接続設定用説明書やCD-ROMなどがある場合、その説明書やCD-ROMにしたがって設定をおこなってください。

□回線終端装置

□ワイヤレスLANルータ
ルータはパソコンやゲーム機など2台以上の機器を同時にインターネットに接続するために必要な機器です。アクセスポイントは、ワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する際に、ルータとパソコンの情報をやりとりするために必要な機器です。
プロバイダから送られてくる機器にはルータやアクセスポイントの機能が搭載されている場合もあります。詳しくはプロバイダから入手した説明書などを確認し、必要に応じて機器を用意してください。

このマニュアルでは、インターネットに接続する方法をワイヤレスLANを使った例で説明します。

このパソコンで使用できるワイヤレスLANは、次の表で確認してください。

IEEE802.11a(5GHz)	×
IEEE802.11b/g	○
IEEE802.11n(2.4GHz)	○
IEEE802.11n(5GHz)	×

重要

機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

機器の接続や設定をする

回線終端装置とネットワーク機器を接続し、必要に応じて、ルータの設定をおこなってください。詳しい接続や設定方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧ください。

参考

NECのAtermシリーズのワイヤレスLANルータやワイヤレスLANアクセスポイントをお使いの場合、Atermの「らくらくネットスタート」を使って接続することができます。詳しくは、Atermシリーズに添付されている説明書をご覧ください。

インターネットに接続する

プロバイダへの入会やネットワーク機器との接続が完了したら、パソコンの設定を変更してインターネットに接続します。このマニュアルではワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する例で説明します。

重要

CATV(ケーブルテレビ)接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い替えたときの設定方法についてお問い合わせください。

参照

有線LANを使ってインターネットに接続する場合
→「LANについて」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93100010 で検索

機器の情報を確認する

パソコンの設定では、接続するワイヤレスLANルータ/ワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)、セキュリティキーの情報が必要になります。機器に添付されている説明書などを確認し、次の欄に設定を控えてください。

ネットワーク名(SSID)

セキュリティの種類

暗号化の種類※

※セキュリティの種類によっては、暗号化の種類を設定しない場合があります。

セキュリティキー

参考

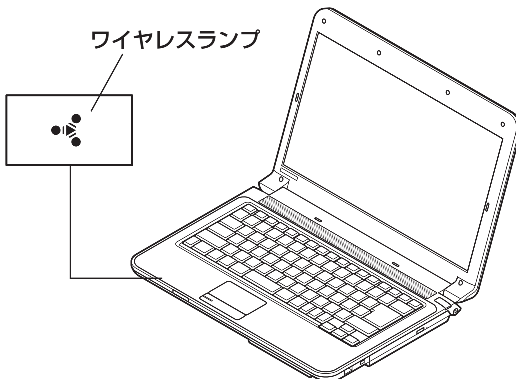
セキュリティキーは、接続する機器のメーカにより「暗号化キー」「ネットワークキー」「WEPキー」「WPAキー」などと呼ばれている場合があります。

ワイヤレスLAN機能を確認する

インターネットに接続するときは、ワイヤレスLAN機能がオンであることを確認してください。ワイヤレス機能がオンのときは、ワイヤレスランプが点灯します。

ご購入時にはワイヤレスLAN機能はオンの状態になっています。

キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押す(【Fn】+【F2】)と、ワイヤレスLAN機能のオン/オフを切り換えることができます。



パソコンの設定をする

ルータとの接続を設定するためにパソコンの設定を変更してください。

参考

NECのAtermシリーズのワイヤレスLANルータやワイヤレスLANアクセスポイントをお使いの場合、「らくらく無線スタートEX」を使って設定することができます。

参照

・ルータと接続するためのパソコンの設定について
→「ワイヤレスLAN接続の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93100140 で検索

・らくらく無線スタートEXについて
→「らくらく無線スタートEX」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 94181813 で検索

・ワイヤレスLAN通信がうまくいかない場合
→「インターネット・ネットワーク関連のQ&A」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 92060010 で検索

手順1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

手順2 「ネットワークとインターネット」をクリックする

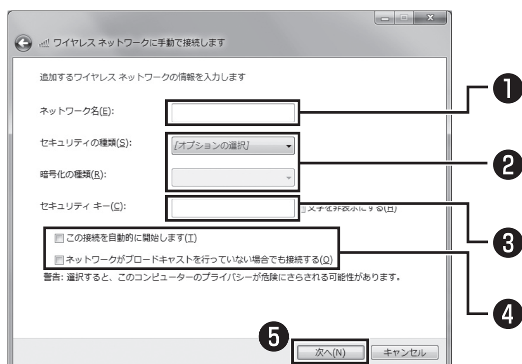
手順3 「ネットワークと共有センター」をクリックする

手順4 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックする

手順5 「追加」をクリックする

手順 6 「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリックする

手順 7 確認したアクセスポイントの情報を使って、接続するネットワークの情報を入力し、「次へ」をクリックする



❶ **確認したネットワーク名(SSID)を入力する**

❷ **確認したセキュリティと暗号化の種類を選ぶ**

❸ **確認したセキュリティキーを入力する**

❹ **□をクリックして☑にする**

❺ **「次へ」をクリックする**

重要

ワイヤレスLANはセキュリティの対策をしっかりしないと外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

手順 8 「閉じる」をクリックする

ワイヤレスLANが接続され、画面右下の通知領域にが表示されます。「ネットワークの場所の設定」の画面が表示された場合は、画面の説明を読んで設定してください。

これでインターネットに接続するための設定は終わりです。

電子メールを設定する

電子メールの設定のしかたについては「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

参照

電子メールを設定するには
→「Outlook 2010の設定」(Office 2010モデルのみ)
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91065010 で検索

→「Windows Live メールの設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91065020 で検索

トラブルを予防するには

ちょっとした注意で、トラブルが起こるリスクを減らすことができます。

適切な場所に設置する

パソコンは精密な機器を組み合わせて作られています。落としたり強い衝撃を与えると、機器に不具合が生じてトラブルが起こることがあります。人やドアがぶつかりやすいところ、不安定な台の上などに設置しないことが、トラブルを回避する第一歩です。また、パソコンを電磁波や熱を発生するものの近くに設置することも、パソコンの不具合の原因になります。

定期的に通風孔(排熱孔)を清掃する

通風孔とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。通風孔の清掃については、『セットアップマニュアル』の「パソコンのお手入れ」をご覧ください。

電源は正しく切る

パソコンの使用中にコンセントから電源コードのプラグを引き抜いたりすると、トラブルの原因になることがあります。正しい電源の切り方について詳しくは、『セットアップマニュアル』の「パソコンの電源を切るときは」をご覧ください。

セキュリティ対策をする

パソコンをインターネットに接続する前にセキュリティ対策をしておきましょう。

しっかりしたセキュリティ対策なしにインターネットに接続することは、自宅のドアや窓を開けっ放しにして旅行に出かけるようなものです。

パソコンのデータが壊されたり盗み出されるだけでなく、あなたの信用を損なうようなトラブルが起こる可能性もあります。

●ウイルス対策をする

セキュリティ対策の中でも特に重要なのが、ウイルスへの対策です。

ウイルスは、パソコンの中で不正な動きをするプログラムです。インフルエンザウイルスのように、インターネットなどを経由してパソコンからパソコンへ伝染し症状を引き起こすため、この名前で呼ばれます。

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るために、ウイルス対策ソフトを活用しましょう。このパソコンにはあらかじめ「ウイルスバスター」というウイルス対策ソフトが用意されています。詳しくは、「ウイルス対策ソフトを使い始める」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91040020 で検索)をご覧ください。

> **重要**
> **パソコンの動きに違和感があるなど、ウイルスの感染が疑われるときは、第4章の「ウイルスの感染が疑われるとき」(p.59)をご覧になり、対処してください。**

●Windows Updateをする

このパソコンの基本ソフト、Windowsを発売しているマイクロソフト社は、Windowsに問題点が発見されると、修正用のプログラムをホームページで無料配布します。

パソコンのWindowsの状態をチェックし、修正用のプログラムを反映させる機能が「Windows Update(ウィンドウズアップデート)」です。

ご購入時の状態では、Windows Updateの自動更新機能は有効になっています。インターネット経由でWindowsを最新の状態にして、ウイルスや不正なアクセスに備えることができます。

> **参照**
> Windows Updateについて
> →「パソコンを最新の状態にする方法」
> ▶「ソフト&サポートナビゲーター」
> ▶検索番号 91060010 で検索

Smart Updateを使う

このパソコンには、さまざまなソフトが入っています。これらのソフトについて、新しい機能の追加や不具合の修正をおこなうための更新プログラムが提供されることがあります。更新プログラムを反映することにより、ソフトに関するトラブルが解決することがあります。

「Smart Update」は、この更新プログラムを確認し、必要に応じてアップデートをおこなうためのサービスです。インターネット経由で更新プログラムの有無を自動で確認し、重要な更新プログラムがあったときにお知らせします。

参照

「Smart Update」について
→「NECのソフトを最新の状態にする(Smart Update)」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91060050 で検索

大切なデータの控えを取っておく（バックアップの方法）

バックアップの必要性

日常生活でパソコンを活用していると、ハードディスクに次のようなデータが蓄積されていきます。

- 重要な情報(知人の住所やメールアドレス、作成した文書、家計簿など)
- 大切な思い出(デジタルカメラで撮影した写真、ビデオ映像など)
- 趣味や娯楽のためのデータ(音楽、動画、ゲームなど)
- インターネットを使うための情報(お気に入り、パスワードなど)

もし、パソコンが故障したりウイルスに感染したりすると、これらの大切なデータが壊れたり消えたりしてしまうことがあります。また、操作を間違えて、自分で必要なデータを消去してしまうことがあるかもしれません。

万が一のときに備えて、大切なデータは定期的に控えを取っておきましょう。データの控えを取ることを、「バックアップ」(バックアップする、バックアップを取る)と呼びます。

トラブルが起こってデータが消えてしまったときでも、バックアップを使ってデータを復元することができます。

参考

壊れたり消えたりしたデータの復元を請け負う専門業者もあります。

一般的なバックアップの保存先(バックアップ先)は、次のとおりです。

- パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)
- DVD-Rなどの光ディスク
- USB接続の外付けハードディスク
- USBメモリーやメモリーカード

重要

パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)をバックアップ先に選ぶと、ハードディスク自体が故障したとき、もとのデータと同時にバックアップを取ったデータまで失われてしまうおそれがあります。重要なデータは、パソコンに内蔵されたハードディスク以外の場所にデータの控えを取っておくことをおすすめします。

参考

・もっと手軽にバックアップを取りたいかた、バックアップをつい忘れてしまうかたのために、NECでは「オンライン自動バックアップ(有料)」もご用意しております。詳しくは、『セットアップマニュアル』の「サービス&サポートのご案内」-「データや個人情報を守るサービス(バックアップなど)」をご覧ください。
・障害によりWindowsが起動しないときは、第3章の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.40)をご覧ください。

バックアップを取る時期について

次のような時期にバックアップをおこなうと効果的です。

・ご購入から数週間経ってデータが増えてきたとき
・古いパソコンからデータを移動してきたとき
・前回バックアップしたときから数週間経って、バックアップしていないデータが増えてきたとき

パソコンの使用頻度(データの増え方)によって、バックアップを取るタイミングを調整してください。こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

著作権が保護されたデータのバックアップを取る

購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作でバックアップを取ることができません。

購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

購入した音楽データのバックアップや退避については、購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

重要

・購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、この方法ではコピー(バックアップ)できません。
購入に使用したソフトを使ってバックアップしてください。
・外付けハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

そのほかのバックアップ方法

そのほか、このパソコンでは次のようなバックアップ方法も利用できます。

・Windowsの「バックアップと復元」を使う
コントロールパネルの「バックアップと復元」で、ファイルやフォルダを、バックアップしたり復元したりすることができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
・「データファイナルレスキュー」を使う
Windowsが正常に起動しないときでも、「データファイナルレスキュー」を使ってバックアップを取ることができます。詳しくは、第3章の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.40)をご覧ください。

第2章

このパソコンのおすすめ機能

ここでは、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、この章をご覧になり、あなたのパソコンライフに役立ててください。

ピークシフト設定ツール

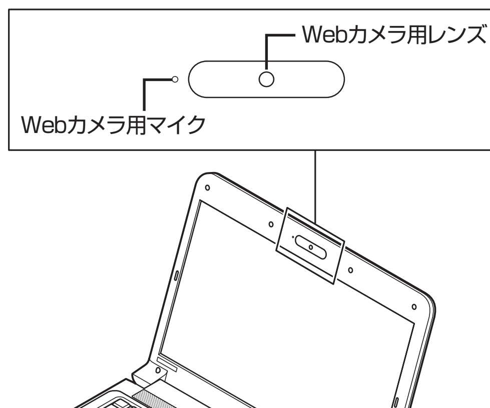
このパソコンへの電源供給を、指定した時間帯にACアダプタからバッテリに自動的に切り換えることができます。

参照

「ピークシフト設定ツール」について
→「省電力機能の設定を変更する」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160030 で検索

Webカメラ

このパソコンにはWebカメラが搭載されています。Webカメラを使って、テレビ電話(ビデオチャット)を利用したり、画像を撮影したりすることができます。



参照

「Webカメラ」について
→「Webカメラ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93035010 で検索

文字やアイコンサイズの変更

画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

「パソらく設定」で変更する

「パソらく設定」はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

手順1 **「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソらく設定」の「ソフトを起動」をクリックする**

「パソらく設定」が起動します。

手順2 **「画面の表示を見やすくする」の「設定画面へ」をクリックする**

手順3 **好みのサイズを選んでクリックする**

選択されたサイズのボタン上に「○」が表示されます。

手順4 **「終了」をクリックする**

手順5 **「保存して終了」をクリックする**

手順6 **「今すぐログオフ」をクリックする**


参照

「パソらく設定」について
→「パソらく設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 94161819 で検索


参考

「標準(100%)」以外の文字を選択した場合、画面の一部が切れて表示されないことがあります。画面の大きさ(ウィンドウサイズ)の変更や操作ができなくなった場合は、文字サイズを小さく設定してください。

Homeリンクマネージャ

USBメモリーやメモリーカードと同じような手軽さで、スマートフォンやタブレットにあるデータを扱うことができる機能です。設定をすることで「ムービーフォトメニュー」を使って、スマートフォンやタブレットに保存している写真やビデオ、音楽ファイルにアクセスできます。


参照

「Homeリンクマネージャ」について
→「Homeリンクマネージャ」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 94082102 で検索

第3章

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、この章の説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、気付かないうちにパソコンのシステムが壊れていたり、意識しないまま設定を変更してしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。
しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。
Windowsが正常に起動しない場合でも、電源が入る状態ならバックアップを取ることは可能です。詳しくは「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.40)をご覧ください。

参考

再セットアップを、NECで代行するサービス(有料)もあります。ご自宅からパソコンを引き取り後、再セットアップを実施してご自宅へ配送します。詳しくは、(http://121ware.com/re-set/)をご覧ください。

再セットアップの前に試すことについて

再セットアップを始める前に、次のチェックを試してみてください。問題が解決することがあります。

・ウイルスチェックをおこなう
・セーフモードでパソコンを起動してみる
・データのバックアップを取る
・システムの復元を試みる

ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。

手順1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター2012 クラウド」-「ウイルスバスター2012 の起動」をクリック

「ウイルスバスター」の画面が表示されます。
「ウイルスバスター」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索)の「ソフトを起動」からも起動できます。

手順2 「検索開始」の右の▼をクリックし、表示されたメニューから「コンピュータ全体の総合検索」をクリック

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

重要

- ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している必要があります。また、ユーザー登録した日から90日間、無料で試用することができます。詳しくは、「ウイルスバスター」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索)をご覧ください。
- ユーザー登録やクラウドを使用したウイルスチェックはインターネット接続が必要となるため、インターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯端末など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。

手順3 「閉じる」をクリック

セーフモードでパソコンを起動してみる

セーフモードとはトラブル修復用の起動状態のことです。
電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

重要
セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。

手順1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

手順2 パソコン本体の電源を入れる

手順3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

手順4 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す

ログオンパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
ユーザーを複数設定している場合は、自分のユーザーアカウントを選んでください。
パソコンが通常のように起動してしまったときは、手順1からやりなおしてください。
この後、パソコンを再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。
セーフモードについて詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「セーフ モード」と入力して検索してください。

データのバックアップを取る

システムの復元や再セットアップをおこなう前に、データのバックアップを取ってください。

参照
バックアップについて→第1章の「大切なデータの控えを取っておく（バックアップの方法）」（p.19）

また、必要に応じて、次の操作をおこなってください。

●音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップを取る

音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したソフトのヘルプをご覧ください。

システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

とくに重要
手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

重要

- システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを復元することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させておいてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.27)で説明した手順にしたがって、パソコンをセーフモード(トラブル修復用の起動状態)で起動してください。その後、次の手順で操作してください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「システム回復オプション」からシステムの復元を実行することもできます。「「スタートアップ修復」を使う」(p.29)の手順6で、「システムの復元」をクリックしてください。
- システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

手順1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック

手順2 「システムの復元」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

「システムの復元」の画面に「別の復元ポイントを選択する」がある場合、この項目を◉にして「次へ」をクリックすると一覧から使用したい復元ポイントを選択できます。復元ポイントを選んで「次へ」をクリックしてください。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順2で「次へ」をクリックしたときに一覧が表示された場合は、一覧から使用したい復元ポイントを選んで「次へ」をクリックします。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順3 「復元ポイントの確認」が表示されたら、内容を確認して「完了」をクリック

手順4 確認の画面が表示されたら「はい」をクリック

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。
しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

手順5 「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリック

これで、システムの復元は完了です。

「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できない場合、次の手順を試してください。

手順1 パソコン本体の電源を入れる

手順2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

手順3 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(詳細)」を選び、【Enter】を押す

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。
これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

「スタートアップ修復」を使う

スタートアップ修復は、システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動をさまたげる可能性のある問題を解決できる、Windowsの回復ツールです。

パソコンがまったく起動しないときは、「スタートアップ修復」を試してください。パソコンが自動的に問題を診断して修復し、正常に起動できるようになる場合があります。

手順1 パソコン本体の電源を入れる

手順2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

手順3 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「コンピューターの修復」を選び、【Enter】を押す

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

手順4 「システム回復オプション」が表示されたら、そのまま「次へ」をクリック

手順5 自分のユーザー名を選び、パスワードを入力して「OK」をクリック

パスワードを設定していない場合は、パスワードは入力しないで「OK」をクリックしてください。

手順6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック

「スタートアップ修復」が始まります。

手順7 修復が終わったら「完了」をクリック

手順8 「シャットダウン」または「再起動」をクリックしてシステム回復オプションを終了する

! 重要

強制電源断など、パソコンが正常に終了されなかった場合、次回パソコン起動時には、自動的にスタートアップ修復が起動する場合があります。その場合は、画面の指示にしたがい、コンピュータを復元してください。ただし、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

再セットアップする（Cドライブのみ）

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータ（NEC Recovery System）を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。

！重要

- **ハードディスクの状態をご購入時から変更（パーティションの追加･削除、ダイナミックディスクなど）した場合、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。**
- **この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります（p.27）。**
- **再セットアップは中断しないでください。**

●こんなことができます

・Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます
Dドライブのデータは保護されます

●こんなかたにおすすめ

・再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
・まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の13項目の作業を連続しておこないます。項目によっては（　）内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS（バイオス）の設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ
6. 市販の周辺機器（プリンタ、スキャナなど）を取り外す
7. システムを再セットアップする（約30分～1時間※）
   ※再セットアップ方法によっては1時間30分程度かかることがあります。
8. Windowsの設定をする（約30分～1時間）
9. 市販の周辺機器（プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす
10. 市販のソフトをインストールしなおす
11. バックアップを取ったデータを復元する
12. インターネット接続の設定などをやりなおす
13. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

バックアップは終わっていますか？

再セットアップをおこなうと、Cドライブに保存したデータはすべて失われます。バックアップが終わっていない場合、第1章の「大切なデータの控えを取っておく（バックアップの方法）」（p.19）、この章の「データのバックアップを取る」（p.27）をご覧ください。

再セットアップを始めたら、途中でやめない！

再セットアップは、すべての作業項目を最後まで続けて作業することが必要です。途中でやめてしまうと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1.必要なものを準備する

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

・「Microsoft® Office Personal 2010」または「Microsoft® Office Home and Business 2010」のプロダクトキー（Office 2010モデルのみ）※
　※：プロダクトキーは「Microsoft® Office Personal 2010」または「Microsoft® Office Home and Business 2010」のDVD-ROMケースに記載されています。
・『ユーザーズマニュアル』（このマニュアル）
・『セットアップマニュアル』

そのほか、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。また、ハードディスク

を起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。

2. バックアップを取ったデータを確認する

バックアップを取ったデータを、もう一度確認してください。まだバックアップを取っていなかったり、バックアップに失敗していたときは、バックアップを取りなおしてください。
「データファイナルレスキュー」(p.40)を使ってバックアップを取ることもできます。

3. インターネットの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- ユーザーID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリDNS
- セカンダリDNS
- メールサーバー
- ニュースサーバー

重要

必要に応じて、LANの設定を控えてください。

4.ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー1」の欄に控えておきます。『セットアップマニュアル』の「パソコンをセットアップする」をご覧ください。「8.Windowsの設定をする」の作業をおこなうときに、このユーザー名が一致しないとデータが復元できなくなってしまいます。

ユーザー	ユーザー名
1	
2	
3	
4	

重要

- **家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。**
- **ユーザー名を控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。**
- **「データファイナルレスキュー」でデータのバックアップを取った場合は、バックアップが完了したときに表示されるバックアップユーザー名を控えてください。**

5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOS(バイオス)の設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。手順について詳しくは、第4章の「BIOSの設定を変更したら、Windowsが起動しない」(p.53)をご覧ください。
また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて
→「ハードウェア環境の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93220040 で検索

6.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外し、『セットアップマニュアル』で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。
DVD/CDドライブやメモリースロットなど各ドライブにもメディアがセットされていないか確認してください。セットされている場合は、すべて取り出してください。
ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

重要

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

7.システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

重要

- **通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。**
- **次の手順を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。**

手順1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

手順2 パソコン本体の電源を入れる

手順3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F4】を何度か押す

手順4 「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

手順5 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

ここでバックアップを取りたい場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取る場合は、USB機器をUSBコネクタに接続し、バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に取り外してください。

手順6 「Cドライブのみ再セットアップ」をクリック

手順7 確認の画面が表示されたら、「はい」をクリック

重要

「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたときは、「戻る」をクリックし、手順6からやりなおしてください。

再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。
「パソコンを再起動します。」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面の[x]をクリックして画面を終了などすると、再セットアッ

プに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

重要

DVD/CDドライブやメモリースロットなどにメディアがセットされていると、再セットアップが途中で停止してしまうことがあります。再セットアップが途中で停止したときは、DVD/CDドライブやメモリースロットを確認し、メディアがセットされていたら取り外してください。

手順 8 **「パソコンを再起動します。」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック**

重要

「パソコンを再起動します。」の画面が表示されなかったときは再セットアップが正常におこなわれていません。「7.システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

「再起動」をクリックして、パソコンが再起動したら、次の「8.Windowsの設定をする」へ進んでください。

8.Windowsの設定をする

このパソコンを買ったときと同じセットアップをもう一度おこないます。

セットアップの手順については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

セットアップが終わっても、周辺機器の接続やバックアップしたデータの復元などの作業が必要です。セットアップが終わったら、このページに戻って、再セットアップを続けてください。

「Microsoft Office 2010※」について(Office 2010モデルのみ)

●はじめてOffice 2010を使用するとき

『セットアップマニュアル』の「ご使用時の注意」をご覧ください。

●ご購入された再セットアップディスクで再セットアップしたとき

PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使って再セットアップした場合、「Microsoft Office 2010」はインストールされません。別途、インストールする必要があります。詳しくは、ご購入された再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。

※:ここでは、「Office Personal 2010」または「Office Home & Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

9.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす

市販のプリンタ、スキャナなどを取り付けて設定しなおします。ご利用の周辺機器に添付のマニュアルを準備してから作業してください。

手順 1 **パソコンの電源を切る**

手順 2 **取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう**

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、各周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

10.市販のソフトをインストールしなおす

手順 1 **市販のソフトをインストールしなおす**

パソコンに市販のソフトをインストールしていた場合は、それぞれに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

11.バックアップを取ったデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.27)でバックアップを取っておいたデータを復元してください。

12.インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定などの初期設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ(入会申し込み)をやりなおす必要はありません。
「インターネットに接続する」(p.15)を参考にインターネット接続の設定をおこなってください。

13. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows UpdateやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

初心者のかたやパソコンの操作に慣れていないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.30)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低70Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

重要

- この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、外部のディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。
  再セットアップ前にCドライブとDドライブで構成されていたハードディスクはCドライブのみになります。
- Windowsが起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどにバックアップデータを移動してください。
- ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加、削除など)した場合、この方法での再セットアップはできません。
- 再セットアップディスクを使ってCドライブの領域を変更して再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
  作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。

再セットアップを実行する

手順1 **「再セットアップする(Cドライブのみ)」の「1.必要なものを準備する」(p.30)から「7.システムを再セットアップする」の手順1～5までの操作をおこなう**

手順2 **「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック**

手順3 **「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.33)以降の説明を参考にしてください。

再セットアップディスクを作成する

再セットアップディスクとは

再セットアップとは、パソコンが起動しなくなった際など、最後の手段としてハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す作業です。通常は、ハードディスク内に準備されている専用のデータを用いておこないますが、次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップディスク」を作成しておくことをおすすめします。

- **ハードディスクの再セットアップ用データを削除した場合**
- **ハードディスクのデータを消去する場合**

再セットアップディスクは、パソコンのハードディスクから「再セットアップ用データ」をDVD-Rなどのディスクに移して作成します。万が一のときに備えて、パソコンが正常に動作しているときに、再セットアップディスクを作成しておくことを強くおすすめします。

再セットアップについて詳しくは、「再セットアップを始める前に」(p.26)を、再セットアップディスクを使ってできる再セットアップについては「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.38)をご覧ください。

重要

通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.30)をご覧になり、ハードディスクから再セットアップをおこなってください。

再セットアップディスク作成の準備

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って、再セットアップディスクを作成します。
再セットアップディスクの作成には2～3時間程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

> **重要**
> **再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。**

未使用のDVD-Rディスクを準備する

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「作成の手順」の手順2(p.37)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- **必ず次の容量のディスクを用意してください。**
  DVD-Rディスクの場合:4.7Gバイトのもの
  DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5Gバイトのもの
- **同じ種類のディスクを用意してください。**
- **次のディスクは使用できません。**
  CD-R、DVD+R、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM
- **各機種用の再セットアップディスクを販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。**
  http://nx-media.ssnet.co.jp/

市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

- **スクリーンセーバーが起動しないようにする**
  次の手順で設定を変更します。
  ①「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
  ②「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
  ③「スクリーンセーバーの変更」をクリック
  ④「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
  ⑤「コントロールパネル」の[x]をクリック
- **起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)**
  終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

> **重要**
> **ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。**

再セットアップディスクの作成

作成の手順

> **とくに重要**
> **手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。**

手順1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「再セットアップディスク作成ツール」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック**

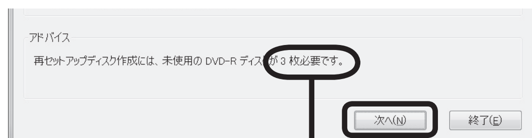
重要

「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、メッセージが表示され、再セットアップディスクを作成できません。
再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。

- 再セットアップディスクを使用して「Cドライブの領域を変更して再セットアップ」をおこなった場合
- 手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

手順2 ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。



ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

手順3 設定内容を確認して、「次へ」をクリック

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

重要

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

手順4 用意したディスクをセットする

アクセスランプが消えるまで待ってください。

手順5 「作成開始」をクリック

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

手順6 「OK」をクリック

手順7 ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるように記入する

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。
「再セットアップディスクを作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

重要

作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップディスクを使って再セットアップする

再セットアップディスクでできること

通常、再セットアップはハードディスク内に準備されている専用のデータでおこないます。
ただし、「再セットアップディスクとは」(p.35)で記載したような理由で専用のデータが使用できないこともあります。
このような場合でも、あらかじめ作成しておいた再セットアップディスクがあれば、これを使って再セットアップをおこなうことができます。
また、再セットアップディスクを使って、ハードディスクのデータを消去することもできます。



参照

再セットアップディスクについて→「再セットアップディスクを作成する」(p.35)

●Cドライブのみ再セットアップ
Cドライブの領域のみ再セットアップをおこない、Dドライブの内容は再セットアップをおこなう前の状態のまま残します。「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.30)で説明している内容と同じです。

●Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ
Cドライブの領域サイズを変更できます(最低70Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

●データファイナルレスキュー
Windowsが起動できない場合にバックアップを取ります。「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.40)で説明している内容と同じです。

●ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ
Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップディスクの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約2時間～3時間かかります。Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

重要

- **この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。**
- **再セットアップを始める前に、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。**
- **Windowsが起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどにバックアップデータを移動してください。**

●ハードディスクのデータ消去
このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows 7標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

- **かんたんモード(1回消去)**
  ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。
- **しっかりモード(3回消去)**
  米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ラン

ダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

・しっかりモードプラス(3回消去+検証)
米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

! 重要

- この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。
- パソコンの電源を切った状態でバッテリパックなどの消耗品を外し、必ずACアダプタを接続しておいてください。
- データ消去方式を選択する画面に、お使いのハードディスクの容量と、100Gバイトあたりのデータの消去にかかる目安時間が表示されます。
- ハードディスクのデータを消去する前に、BIOSの設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、第4章の「BIOSの設定を変更したら、Windowsが起動しない」(p.53)をご覧ください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。

再セットアップディスクを使った再セットアップ手順

! 重要

- 再セットアップを始めたら、手順どおり最後まで操作してください。中断したときは、最初からやりなおしてください。
- 通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

手順1 作成した再セットアップディスクを用意する

手順2 「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.30)を読み、「1.必要なものを準備する」から「6.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業をおこなう

手順3 パソコン本体の電源を入れる

手順4 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする

手順5 「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

パソコンが通常の状態で起動したときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

手順6 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

ディスクを交換する指示が表示されたら、再セットアップディスクを順番にセットしてください。
ここでバックアップを取りたい場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。

外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取る場合は、USB機器をUSBコネクタに接続し、バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に取り外してください。

手順7 目的の再セットアップのボタンをクリック

手順8 以降は、画面の指示にしたがって操作する

「再セットアップ」を選んだ場合は、再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面か、再起動を求める画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れたり、ディスクを取り出したりしないでください。
ディスクを交換する指示が表示されたら、再セットアップディスクを順番にセットしてください。
「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、ディスクを取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動して「Windowsのセットアップ」の画面が表示されます。

! 重要

この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。最初からやりなおしてください。

手順9 「8.Windowsの設定をする」(p.33)以降の説明を参考に、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをする

「13.Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」の操作まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る

データファイナルレスキューでできること

通常、データのバックアップは再セットアップをおこなう前に取ります。しかし、障害などが原因でWindowsを起動できない場合があります。その場合は、「データファイナルレスキュー」でバックアップを取ってください。
バックアップ先には、パソコンのハードディスク内(Dドライブ)のほか、外付けハードディスクやUSBメモリーを指定することができます。
また、「データファイナルレスキュー」でバックアップを取ったデータは、「データファイナルレスキュー」にて復元することができます。データの復元方法について詳しくは、「バックアップしたデータを復元する」(p.43)をご覧ください。

バックアップ先に外付けハードディスク／USBメモリーを指定する場合のご注意

バックアップ先に外付けハードディスク／USBメモリーを指定する場合、次のことにご注意ください。

- 外付けハードディスクは、USB接続のもののみ利用できます。
- 「データファイナルレスキュー」上では、外付けハードディスク／USBメモリーのフォーマットはできません。あらかじめWindows上でフォーマットや空き容量を確保しておいてください。
- 複数の外付けハードディスク／USBメモリーにデータを分割してのバックアップはできません。
- 外付けハードディスク／USBメモリーの空き容量を超えるサイズのファイルはバックアップされません。

・バックアップ処理中は、外付けハードディスク／USBメモリーを抜かないでください。また、バックアップ終了後は外付けハードディスク／USBメモリーを必ず抜き、接続したままパソコンを起動しないでください。
・外付けハードディスク／USBメモリー自体で暗号化/セキュリティ機能を備えたもの(OS起動前でも認証可能なもの)は、「データファイナルレスキュー」の起動前にあらかじめ認証を完了させておく必要があります。

次のような外付けハードディスク／USBメモリーは、バックアップ先として指定できません。
・パソコンへ接続した際に、OS上でパスワード入力や指紋照合などの認証を求められるもの。
・自動暗号化/自動セキュリティ機能が動作するもの。
・パソコンに外付けハードディスク／USBメモリーをあらかじめ登録することで、次回以降のパスワード入力が省略できるもの。

※これらの外付けハードディスク／USBメモリーを使用した場合でも、「バックアップ先」のリストボックスに接続した機器が表示されますが、[空き容量]ボタンをクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップを取ることができません。

データファイナルレスキューを使ったバックアップ手順

重要

- 操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。
- 「データファイナルレスキュー」では、Windowsの設定、周辺機器の設定、インターネット設定のバックアップを取ることはできません。
- 音楽データなどの著作権保護されたデータは、バックアップを取ることができません。
- バックアップ先にメモリーカードは指定できません。スロットにメモリーカードが差し込まれている場合は、取り外してください。

手順1 パソコン本体の電源を入れる

手順2 NECのロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F4】を何度か押す

手順3 「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

パソコンが通常のように起動してしまったり、ほかのエラーを示す画面が表示されたときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

手順4 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「データを退避する(データファイナルレスキュー)」をクリック

手順5 外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取りたい場合は、USB機器をUSBコネクタに接続する

手順6 「データファイナルレスキュー」の画面が表示されたら、バックアップしたい「バックアップ タイトル」に☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

バックアップしたい「バックアップタイトル」が□のときは、クリックして☑を付けてください。

重要

- バックアップが取れるのは、この画面で☑が付いているデータだけです。この画面で、「追加」をクリックすると、ほかのデータを登録できます。
- 「Windows Live メール」に☑を付けても、Windows Live メールのアドレス帳のバックアップは取れません（メールアカウントとメールメッセージのバックアップは取れます）。

手順7 「ユーザーとバックアップ先の指定」が表示されたら、バックアップを取るユーザーを選び、どこにバックアップを取るかを選んで「次へ」をクリック

「セキュリティ機能を使用する」を☑にすると、バックアップファイルをパスワードで保護することができます。

重要

- バックアップ先にUSBメモリーを指定する場合、「バックアップ先」の「USBメモリー」のリストボックスに複数のドライブが表示されているときは、「空き容量」をクリックし、空き容量が0バイトとなっていないドライブを選択してください。
- 接続している外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器が「バックアップ先」のリストボックスに表示されていない場合は、いったん「戻る」をクリックして「バックアップタイトルの選択」画面に戻り、「次へ」をクリックして再度「ユーザーとバックアップ先の指定」画面にすすんでください。
- セキュリティ機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。

手順8 バックアップの内容を確認して「実行」をクリック

バックアップが始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

重要

- 標準の状態では、パソコンのハードディスク内にあるDドライブという場所にデータの控えが作成されるようになっています。再セットアップの際にCドライブの領域を変更する場合には、Dドライブのデータも消えてしまうため、外付けハードディスクやUSBメモリーにデータのバックアップを取る必要があります。バックアップ先を変更するには、「ユーザーとバックアップ先の指定」の画面でバックアップ先の場所を指定します。
- 自動暗号化機能などを搭載した外付けハードディスク／USBメモリーは、「バックアップ先」のリストボックスに接続している機器が表示されても、[空き容量]をクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップを取ることができません。

手順9 「バックアップの完了」と表示されたら、バックアップユーザー名を控えてから「完了」をクリック

手順10 「「データを退避する」が終了しました。」と表示されたら、「戻る」をクリック

手順11 複数のユーザーを設定している場合は、すべてのユーザーのバックアップが終わるまで手順4〜10を繰り返す

外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップをした場合は、USB機器は取り外してください。
「Windows 7再セットアップ」の最初の画面に戻ります。「再セットアップ」をクリックして再セットアップをおこなってください。

重要

・Dドライブにバックアップを取った後は、Cドライブのみ再セットアップをおこなってください。そのほかの方法で再セットアップをおこなうと、Dドライブに作成したバックアップデータが消去されてしまう可能性があります。
・Cドライブのみ再セットアップする手順について詳しくは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.30)をご覧ください。

バックアップしたデータを復元する

「データファイナルレスキュー」でバックアップしたデータは、以下の手順で復元できます。ここでは、例として、パソコンのDドライブにバックアップを取った場合について説明しています。

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

重要

外付けハードディスクなどにバックアップを取った場合は、「(外付けハードディスクのドライブ)¥BackupRanger」フォルダに復元するためのプログラムが作られます。外付けハードディスクをパソコンに接続した後、管理者権限を持つユーザーでログオンしてからプログラムを実行してください。このプログラムは、Windows 7、Windows Vista以外のOSでは動作しません。

手順1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」をクリック

手順2 名前に「D:¥BackupRanger¥BackupUtMini.exe」と入力し、「OK」をクリック

手順3 「免責事項と注意事項の確認」画面が表示されたら、内容を確認し、「同意する」をクリックして◉にして「次へ」をクリック

手順4 「バックアップファイル」から、復元したいバックアップファイルを選択して「次へ」をクリック

「バックアップファイル」には、「データファイナルレスキュー」でバックアップを取ったバックアップデータが表示されます。

重要

セキュリティ機能を使用してバックアップを取ったバックアップデータを選択した場合、「セキュリティ機能」画面が表示されます。バックアップ時に設定したパスワードを入力して、「OK」をクリックしてください。

手順5 復元したい「バックアップタイトル」に☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

復元したい「バックアップタイトル」が□のときは、クリックして☑を付けてください。

重要

・特定のファイルを復元したい場合は、「バックアップタイトル」をクリックした後、下に表示されるフォルダとファイルの一覧の中から、復元したいファイルに☑を付けてください。
・一度に複数のバックアップタイトルやファイルを復元することもできます。

手順6 「復元の開始」画面で「はい」をクリック

データの復元が始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

重要

- データファイナルレスキューでバックアップを取ったユーザーと、復元をおこなうユーザーが異なる場合、注意画面が表示されます。バックアップ時と同じ場所へ復元してもよい場合には、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。
- 標準ユーザーのバックアップデータを復元するときには、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。

手順7 「復元の完了」と表示されたら「完了」をクリック

「復元結果の表示」をクリックすると、復元されたファイルの一覧を確認することができます。

これで、データファイナルレスキューで作成したバックアップデータによる復元は完了です。

第4章

トラブル解決Q＆A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、この章で説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困ったら見る」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜き、ACアダプタやバッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。

パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇この章「トラブル解決 Q&A」

◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル

◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

Q&A情報やウイルス/セキュリティ情報など、いろいろなサポート情報を見ることができます。

http://121ware.com/support/

◇マイクロソフトサポート技術情報(Microsoft Fix itソリューションセンター)

Windows 7に関する問題の解決策や修正プログラムが公開されています。

http://support.microsoft.com/fixit

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき

急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったときは、画面の表示などに時間がかかっているか、ソフトやWindowsに異常が起きている(フリーズ、ハングアップ)可能性があります。しばらく待っても変わらないときは、次の対処をしてください。

●操作をキャンセルしてもとに戻す
ソフトに「元に戻す」、「取り消し」、「キャンセル」などの機能があるときは、使ってみてください。

●異常が起きているソフトを終了させる
通常の方法でソフトを終了できないときは、次の手順で、異常が起きているソフトを終了できます。

重要
この方法で終了した場合、データは保存できません。

1 キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Del】を押す

2 「タスクマネージャーの起動」をクリック

3 右側に「応答なし」と表示されているタスク(ソフト)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

●Windowsをいったん終了する
次の手順でWindowsをいったん終了(シャットダウン)し、電源を入れなおしてください。問題が解決する場合があります。

1 「スタート」をクリック

2 「シャットダウン」をクリック
パソコンの電源が切れて、電源ランプが消灯します。

この方法で電源が切れないときは、次の「Windowsを強制的に終了する」をご覧ください。

Windowsを強制的に終了する

「Windowsをいったん終了する」の手順で電源が切れない場合は、次の手順で強制的に電源を切ることができます。

重要
- ソフトなどで作成し、保存していなかったデータは消えてしまいます。
- この方法で電源を切ることは、パソコンに負担をかけるため、どうしても電源が切れない場合以外は使用しないでください。
- CDやDVDなどのディスクがDVD/CDドライブに入っている場合、取り出せる状態のときは取り出してから電源を切ってください。取り出さずに電源を切った場合は、次に電源を入れたとき正しく起動しないことがあります。その場合はCDやDVDなどのディスクを取り出した後で、電源を切ってください。
- SDメモリーカードなどのメモリーカードやUSBメモリーがセットされているときは、取り外してから電源を切ってください。
- アクセスランプが消えていることを確認してください。
- 電話回線を使うソフトを起動しているときは、電源を切る前にソフトを終了してください。

参照
アクセスランプについて
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010010 で検索

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける(通常、4秒以上)
この操作を「強制終了」といいます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す
電源が入ります。「Windowsエラー回復処理」が表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。

3 Windowsが起動したら、「スタート」をクリック

4 **「シャットダウン」をクリック**
パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコン本体の電源スイッチを押し続けてください。
それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）へお問い合わせください。

パソコンの様子がおかしいとき

Q 煙や異臭・異音がする

煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱いとき、パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じたとき

A すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。
電源が切れないときは、本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

Q ピーッというエラー音がした

ハードディスクの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）へお問い合わせください。

Q パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、何も作業をしていないのに、ハードディスクが自動的に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題ありません。
また、ハードディスクの空き容量が少ないときや、データの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、アクセス音が長く続くことがあります。このようなときは「ディスク デフラグ」や「ディスク クリーンアップ」を実行してください。
（データの断片化とは、ハードディスク上のデータの配置が不連続になり、空きスペースが細かく分かれてしまった状態をいいます）
「ディスク デフラグ」、「ディスク クリーンアップ」については、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

Q ACアダプタから異音がする

ACアダプタの仕様によるもので、故障ではありません。

A ACアダプタにはAC電源(交流)をDC電源(直流)に変換するトランスや電圧を安定させたりノイズを除去するコンデンサなどの部品が内蔵されており、ACアダプタを使用(LaVieはバッテリ充電中を含む)すると、これらの部品が振動するため、音が発生する場合があります。これは、パソコンだけでなく液晶ディスプレイや周辺機器など、ACアダプタを使用しているすべての機器でおこります。

Q ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン（換気装置）があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔（排熱孔）にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、ファンの音が大きくなることがあります。その場合は『セットアップマニュアル』の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔（排熱孔）を清掃してください。
あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）へお問い合わせください。

Q パソコンが熱をもっている

パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔（排熱孔）にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、内部温度が高くなることがあります。その場合は『セットアップマニュアル』の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔（排熱孔）を清掃してください。
あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）へお問い合わせください。

キーボード、NXパッドがおかしいとき

重要

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

Q NXパッドを動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い

マウスポインタが◎の形に変わっていませんか？

A マウスポインタが◎の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、キーボード、NXパッドの操作が受け付けられないことがあります。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待っても、キーボードやNXパッドの操作ができないとき

A ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき」(p.47)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

指先やNXパッドが汚れていませんか？

A 指先やNXパッドに水分や油分が付いていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

NXパッドの2か所以上に同時に触れていませんか？

A NXパッドの2か所以上に同時に触れていると、正常に動作しません(マルチタッチ・ジェスチャーでの操作を除く)。1か所だけに触れるようにしてください。

NXパッドの感度の設定が低くなっていませんか？

A NXパッドは、誤動作を防止するため、感度を調整することができます。ただし、この感度が低すぎると、NXパッドの反応が鈍くなります。
次の手順で設定を変更してください。

1. **「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック**
   「マウスのプロパティ」が表示されます。
2. **「デバイス設定」タブの「設定」をクリック**
   デバイスの設定画面が表示されます。
3. **「アイテムの選択」で「ポインティング」-「感度」をダブルクリック**
   「感度」に含まれる項目が表示されます。
4. **「PalmCheck(パームチェック)」または「タッチ感度」をクリックし、設定を変更する**
   設定内容については、画面の説明をご覧ください。
5. **「OK」をクリック**
   「マウスのプロパティ」に戻ります。
6. **「OK」をクリック**

これで、NXパッドの感度の設定が変更されました。

Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください

A キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

! 重要

- ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードやパソコンが故障することがあります。
- パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。

電源／バッテリのトラブルがおきたとき

Q 電源スイッチを押しても電源が入らない

バッテリは十分充電されていますか？

A ACアダプタを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。ACアダプタを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。ACアダプタを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

正しい操作方法で、電源を入れていますか？

まれに、パソコン本体が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

パソコンの電源が切れた状態で、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外します。
そのまま90秒以上放置してください。
その後、バッテリパックを取り付け、電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源を入れなおしてください。

参照

バッテリパックの取り外し方について→『セットアップマニュアル』の「接続する」

Q 電源が切れない。強制的に電源を切りたい

「Windowsを強制的に終了する」(p.47)をご覧ください。

Q パソコンの電源が勝手に切れる

このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号93160010 で検索)をご覧ください。
この場合は、電源が切れたわけではありません。

Q 電源スイッチを入れたら、いつもと違う画面が表示された

CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされていませんか？

A CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。

Q バッテリの駆動時間が短くなった。フル充電できない

次の手順で「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を使ってバッテリリフレッシュをおこなってください

1 パソコンにACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む

2 「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック
「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」についての説明の画面が表示されます。バッテリのリフレッシュおよび診断を開始する前に注意事項を確認してください。

3 「次へ」をクリック

4 「開始」をクリック

5 「はい」をクリック
バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。

6 診断結果を確認する
「バッテリ状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリパックの交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、安全のために充電を止めますので充電はできません。バッテリパックを交換してください。

！ 重要

- バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。
- バッテリリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリパックを取り外すと、バッテリのリフレッシュが中止されます。
- バッテリが「警告」状態になった場合は充電ができなくなるため、バッテリリフレッシュをすることができません。

参考

- お使いの機種で使用できるバッテリパックについては、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「サービス＆サポート」(http://121ware.com/support/)の「商品情報検索」で確認できます。
- バッテリパックのご購入については、本体を購入された販売店、またはNECのWeb購入サイト「NEC Direct」(http://www.necdirect.jp/)にお問い合わせください。


参照

使用済みバッテリパックのリサイクルについて
→「バッテリパックのリサイクルについて」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93150050 で検索



BIOSの設定を変更したら、Windowsが起動しない

BIOS（バイオス）セットアップユーティリティで、BIOSの設定を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。
次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。
なお、BIOSセットアップユーティリティで設定したパスワードは、次の手順をおこなっても初期値には戻りません。


重要

BIOSセットアップユーティリティで設定をおこなっている間は、パソコンの電源スイッチで電源を切らないでください。電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切る操作をおこなってください。

1 市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す

2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら何度か【F2】を押す
BIOSセットアップユーティリティが起動します。
BIOSセットアップユーティリティが起動しない場合や「NEC」のロゴ画面が表示されない場合は、いったん電源を切り、本体の電源を入れた直後にBIOSセットアップユーティリティが起動するまで、【F2】を繰り返し押してください。

3 【F9】を押す

4 「はい」（または「Y」、「Ok」、「Yes」）を選んで【Enter】を押す
システムの設定が初期値に戻ります。

5 【F10】を押す

6 「はい」（または「Y」、「Ok」、「Yes」）を選んで【Enter】を押す
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。



省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。


参考

パソコンの起動を高速におこなえる「クイックパワーオン（省電力クイックモード、クイックモード）」も省電力機能の1つです。省電力機能についてのQ&Aで問題が解決することがありますので、あわせてご覧ください。

ソフトや周辺機器は省電力機能（スリープ状態／休止状態）に対応していますか？

A 対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

A スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持（記録）した内容が消えてしまう場合があります。

休止状態の間に、周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

A 休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。
その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

CD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

A CD-ROMなどのディスクがセットされている状態で省電力状態から復帰すると、正しく復帰できずにCD-ROMから起動してしまうことがあります。
省電力状態にする場合には、CD-ROMを取り出してから省電力状態にするようにしてください。

Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっていませんか？

A ドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。ハイブリッドスリープがオフになっていると、バッテリが消耗したとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。
コントロールパネルの電源オプションの設定で、ハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。

参照

ハイブリッドスリープの設定について
→「省電力機能について」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

A
- 液晶ディスプレイを閉じた
- 省電力状態にした
- 電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

バッテリの残量が少なくなっていませんか？

A ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

省電力状態からの復帰（再開）に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

・プリンタへ出力中のとき
・サウンド機能により音声を再生しているとき
・ハードディスクを読み書き中のとき
・CD-ROMなどを読み取り中のとき
・省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

パソコンのトラブルには、基本ソフトであるWindows 7で発生した問題も含まれています。Windows 7の開発元であるマイクロソフト社が、それらの問題の解決策や修正プログラムを、同社のホームページで提供しています。

このマニュアルに記載されている対処方法を試してもトラブルが解決しないときは、次のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://support.microsoft.com/fixit

Q シャットダウン時にエラーメッセージが表示される

多くの場合、シャットダウン前に操作していたソフトの終了が、システムのシャットダウンより時間がかかっているときにおこります。メッセージが出るがすぐに消えて、シャットダウンが正常に終わる（その後、パソコンが正しく起動できる）場合は、特に問題ありません。
シャットダウンができない（エラーメッセージが表示されたままになる）場合は、「Windowsを強制的に終了する」（p.47）の手順で電源を切ってください。

使用中に画面に何も表示されなくなったとき

Q ディスプレイ(画面)に何も表示されない

キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、NXパッドに触れてみてください

A 画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないとディスプレイの電源が切れるように設定されています。

パソコン本体の電源スイッチを押してください

A 画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。

参照
省電力機能について
→「省電力機能について」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

省電力状態にしていましたか？

A 省電力状態から正常に復帰できないときは、「省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない」(p.53)をご覧ください。

ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっていませんか？

「ディスプレイ·画面の表示機能」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180010 で検索)をご覧になり、画面の輝度を調節してください。
なお、電源プランを「ECO」に切り換えると画面の輝度が20%になります。また、一定時間操作しないと輝度は5%になります。
「ECO」で使用中、ディスプレイで画面の輝度を調節した場合、スリープ状態からの復帰時や再起動すると画面の輝度は「ECO」の設定に戻ります。

外部ディスプレイを接続していませんか？

A 外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、電源ランプが点灯していても、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【Fn】＋【F3】または【Windows】＋【P】を押すか、「画面の設定」で画面の出力先を変更してください。画面の設定の手順については、「画面を表示するディスプレイを切り換える」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180110 で検索)をご覧ください。
(出力先を「画面の設定」で変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます)
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

Q Windows Media Centerを使用していると、動かなくなってしまう。動作が遅い

Windows Media Center画面の下に、ほかのソフトの画面が表示されていませんか？

A ほかのソフトの画面が「Windows Media Center」画面の下に重なっている可能性があります。「Windows Media Center」右上の(最小化ボタン)をクリックして、ほかのソフトの画面が表示されていないか確認します。ソフトの画面やメッセージが表示されていた場合は、内容をよく読んで操作してください。

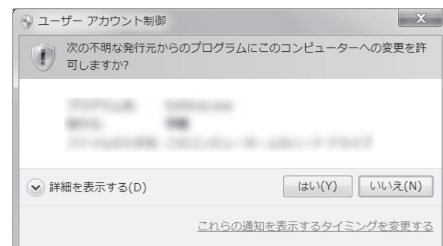
メッセージが表示されたとき

Q 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された

Windowsには、ユーザーの操作やプログラムの実行を監視し、処理を続行する前に画面を表示してユーザーの許可を求める「ユーザー アカウント制御」機能があります。
ソフトを起動したり、操作しているときに、次のような「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

※プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。





「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてよいかどうか判断してください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、「いいえ」をクリックすることで被害を防げることがあります。
「標準ユーザー」でパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

パスワードのトラブルがおきたとき

Q パスワードを入力すると「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示される

(キャップスロック)や(ニューメリックロック)の状態を確認してください

A パスワードは、大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。
また、ニューメリックロックがオンになっていると、テンキーから数字や記号が入力されます。必要に応じて状態を切り換えてください。

参照

キャップスロック、ニューメリックロックについて
→「キーの使い方」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93040030 で検索

Q パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

A 一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないでをクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。
どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワード リセット ディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。
または、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名が登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウントの管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。
詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

参照

- **ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイト、ネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。**
- **「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、パスワードを設定しなおすことはできません。**

これらの方法で解決できない場合は、パソコンの再セットアップが必要になります。

参照

再セットアップについて→「第3章 再セットアップ」(p.25)

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

A BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

参照
BIOSセットアップユーティリティについて
→「ハードウェア環境の設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93220040 で検索

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

A NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードを忘れないよう、十分注意してください。

ウイルスの感染が疑われるとき

「ウイルスバスター」をご使用の場合

「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している(インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを取り外さない、また、ワイヤレスLAN機能はオフにしない)状態でウイルスの駆除をおこなってください。

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトをご使用の場合

インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを、パソコンから取り外します。ワイヤレスLANの場合は、ワイヤレスLAN機能をオフにします。なお、使用しているウイルス対策ソフトによって対処方法が異なる場合があります。詳しくは、各ウイルス対策ソフトのマニュアルなどをご確認ください。

重要
パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。

コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人にかかわらず、次の届け先に届け出てください。届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX: 03-5978-7518
E-mail: virus@ipa.go.jp
URL: http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL: 03-5978-7509

その他のトラブルがおきたとき

Q DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった

DVDやCDの再生中または書き込み中ではありませんか？

A DVDやCDの再生中または書き込み中のときは、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。停止させてからディスクを取り出してください。

パソコンの電源は入っていますか？

A パソコンの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。電源を入れてからディスクを取り出してください。

画面の操作で取り出しをしてみてください

A 「スタート」-「コンピューター」をクリックして画面を表示します。DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして「取り出し」をクリックしてください。

パソコンを再起動してからイジェクトボタンを押してください

A アクセスランプが消えていることを確認した後いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。



アクセスランプについて
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010010 で検索

DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったとき

A パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出します。



ディスクの取り出し方について→第1章の「ディスク(DVD/CDなど)」(p.13)

Q パソコンを落とした

外観上、特に問題ないようならば、電源を入れてみてください。
電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

Q Windows 7再セットアップ画面が表示できない

【F4】を押すタイミングは合っていますか？

A パソコン本体の電源を入れ、「NEC」ロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」と表示されるまで何度か【F4】を押し続けてください。

「コントロールパネル」から起動してください

A 次の手順で起動することができます。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」をクリック

2 「バックアップと復元」-「システム設定またはコンピューターの回復」-「高度な回復方法」をクリック

3 **「コンピューターを出荷時の状態に戻す」をクリック**

4 **「スキップ」をクリック**

5 **「再起動」をクリック**

再セットアップディスクを使って再セットアップしてください

A 再セットアップディスクを使った再セットアップ方法は、第3章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.38)をご覧ください。
再セットアップディスクは作成する必要があります(p.35)。

索　引

数字

アルファベット

B

C

D

H

N

O

S

W

かな

あ

か

さ

た

初版 2012年4月
NEC
853-811064-199-A

LaVie E
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）